

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン
- 第 2560 地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策
- 副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝
- 副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一
- 副SAA——松谷昊吉
- 例会日——毎週水曜日 12:30 ~
- 例会場——三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

出席者会員数

会員 78名中 62名

先々週出席率

96.00% (前年同期 94.37%)

今日のお花

カンパニュウラ、黄アルストメリア

ヴィジター

三条南より 金子武義さん、若林幸哉さん、西巻克郎さん、
林 幹雄さん

三条北より 中條耕二さん、吉川吉彦さん

ゲスト

宮島音楽教室 宮島浩子殿

先週のメイクアップ

4/8 加茂へ 渡辺勝利さん

4/12 三条南へ 渡辺勝利さん、古沢富雄さん、阿部武美さん、五十嵐総一さん、
岩井数央さん、山田富雄さん、吉井俊介さん

会長挨拶 内山(辰)会長

ご挨拶申し上げます。今日は宮島音楽教室の宮島浩子先生からおいでいただきまして卓話をいただくことになりました。ありがとうございます。三条南クラブから四名、北クラブから二名のお客さんをお迎え致しております。ようこそおい出くださいました。

十二日には皇太子殿下と小和田雅子さんとの納采の儀が行なわれました。この辺の春は未だのようですが、桜の花の咲いたような明るい気分となりました。

そんな喜びも束の間でして、今朝の新聞をみますと燕商工会議所の兼古会頭さんが昨日急逝されたと載っておりました。私も二ヶ月ほど前に本成寺の節分でお会いしたばかりだったのですが、非常にユーモアのある方だったという思い出がございます。私もびっくりしております。他人ごとではないかと、つくづく人生は無常であるということを感じさせていただいております。

今日は新会員が二名おいでです。後でご紹介させていただきます。

幹事報告 榎本幹事

◎新津中央RCより

第40回県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会のご案内がとどいております。

と き 6月11日(金)

と ころ 新津カントリークラブ(0250-22-1850)

スタート AM8:00

新会員紹介

佐久間勝敏会員

佐久間商店

昭和17年11月15日生

家族構成：妻、一男、二女、母

趣味：絵画



小柳直人会員

(旬)アズサ

昭和25年6月9日生

家族構成：妻、一男、一女

趣味：北ヨーロッパ商品を集めること



ニコニコBOX ¥22,000

4月14日分

佐藤英一(三条南)さん

創立記念日おめでとうございます。ワインまでおみやげにいただき恐縮です。

内山(辰)さん

新会員の入会を歓迎しまして。燕商工会議兼古会頭のお冥福をお祈り申し上げます。

岩井さん

母の納骨で久しぶりに京都へ行ってきました。桜の花が満開で、花の京都を満きつして参りました。

高森さん

長女が大学へ入学致しました。「良い虫」が付きます様に、勉強も一杯します様に。

林さん

都合により本日早退させていただきます。

細井さん

5クラブ合同ゴルフ、コンペ寒さと大風の中ががんばって回って来ました。

榎本さん

昨夜、新潟港に入港した海上自衛隊、練習艦隊歓迎パーティーに参加して来ました。守りあって、うれしいなと心強く感激して来ました。

杉野さん

結婚祝を頂きました。おそくなりましたお役に立てて下さい。

斎藤さん

長島ファンとして。昨日の大阪地方の桜は満開でした。

佐野さん

新入会員を歓迎して。

平原(信)さん

佐久間君の入会を歓迎して。

長谷川さん

小柳さん、佐久間さんの入会を歓迎して。

渋谷(正)さん

小柳さん、佐久間さんを新会員にお迎えして。

西山さん

小柳直人さんの入会を歓迎します。

加藤さん

BSN、川口さんより劇団四季、「コーラスライン」開催で大変お世

話になりました。

佐久間さんと小柳さんの入会を祝って。

広岡さん 「寺泊ととや」での夜の例会、皆さんのおいでをお待ちしております。

大谷さん 外孫、今春高校入学しました。

卓話 「カラオケ上達方」

宮島音楽教室 宮島浩子さん

宮島です。最初に皆さんで発声練習をやってみましょう。

(一同大きな声で)「オオーイ」。大きな声ですね。今度は小さな低い声で、さあどうぞ(一同低い声で)「オオーイ」。どうです、大きな声の方が気持ちがいいでしょう。

「腹から声を出せ」とよく言われておりますが、今皆さんにやっていただいた発声練習は腹筋を使って自然にリラックスしたままで声の伸びを訓練するための第一歩なんです。これがカラオケ上達方その1です。いろいろな場面で試してみてください。

思いきり声を出すと、どうです、スッキリされたでしょう。なら、思いきり声を出して歌を歌うことはもっとスッキリすると思いませんか。歌を歌っている時、歌以外のことを考えますか。何もかも忘れてただ画面の中の歌詞を思い浮べて、気持ちは歌の主人公になっているのではないのでしょうか。歌は3分間の人生のドラマなんです。

カラオケという言葉の本来の意味は、オーケストラの演奏だけを録音したテープやレコードやその装置のことでして、歌の入っていない、空(から)のオーケストラという合成語なんです。音楽の世界では録音技術の発達と同時に生まれた業界用語なんです。クラシックの世界でも使われている言葉です。

それが現在私達大衆にこれだけ馴染の深い言葉となったのは、1972年、関西の某音楽メーカーがカラオケの装置を作り出して流行り始めたのです。一般的に北国の人よりは南国の方の方が歌が旨いようですが、それは気候のせいばかりでなく、カラオケの発達にも関連があるのかも知れません。

ご存知のようにカラオケはテープ、8トラ、デジタル、CDと変化し、海外でもその波は勢いを増して広がっております。カラオケを通して世界の人たちの和が広がるなんて平和なことですね。幸せなことだと思います。何故このようにカラオケは一時的なブームだけで留まらず、廃れることなく、多くの人に愛されているのでしょうか。



それはまず第一に、カラオケの私達に与える影響だと思います。それは声を出すということ。音楽に合わせて声を出すということがストレスを解消してくれると思うのです。この複雑な現代社会では、さまざまな年齢層の方がストレスを抱えて生きています。その各年代層に支持されているのがここなんです。また歌うことで自分と違う人生に触れることができる。その世界に浸り現実から少しでも離れることができる。そこで登場したのがカラオケ・ボックスなんです。1985年くらいに岡山で初めてできて以来、カラオケ産業として伸びに伸びています。

事実カラオケは健康にも良いんです。楽しいということがそもそも健康に良い。それに歌うことは喋ることよりも酸素を多く摂取し、血液の流れを活発にします。また歌詞を覚えること。リズムに乗ろうとすること。これらがみんな健康に良いんですね。胎教にも良いと思います。胎教はクラシックだけではありません。また歌を通してコミュニケーションをはかるといこともできると思います。人間関係やビジネスにと活用は広がります。ただマナーも大事ですね。相手の歌っている時は聞いてあげて。終わったら拍手をすることも大事ですね。

ここで上達方その2です。相手の歌を真剣に聞く。そして審査員になったつもりで心の中で審査をします。「ここが旨い。あそこがもう少しだ」と、それと同時に自分にも結付けていく「俺ならこんなふうに歌う」と、ここがポイント。

そして上達方その3です。私は東海林太郎調と呼んでおりますが、一本調子で歌う。彼はそれで良いと思いますが、私達は表情がないよりあった方が良いと思うのです。メリハリは大袈裟に付ける。これが三つめです。

なにはともあれ、手軽で身近なカラオケは、自然でこんなに楽しいものなんです。そこには笑いあり、触れ合いあり、多くの感動があります。失いかけていた心の触れ合いが生まれてきます。

そんなカラオケが私は大好きです。皆さん大いに歌って楽しんでいただきたい。お酒がないとチョットという人は酒の量には気を付けて、そしてもっと旨くなりたいたいという人は私の教室までおいで下さい。

今日はこんなところで失礼いたします。

4月21日例会 卓話 川又嘉瑞範会員

4月28日例会 卓話 県議会議員 滝口恵介殿

5月5日例会 休 会
